

令和3年6月10日

令和2年度 鹿島山北高等学校（及び株式会社山北学園）の評価について

山北町教育委員会
教育特区推進室

鹿島山北高等学校の学校運営状況、及び学校設置会社の運営状況について、評価並びに指導改善等を次のとおり報告する。

1. 鹿島山北高等学校の評価

(1) 構造改革特別区域の意味と地域の特性をよく理解して、教育環境の質を下げることなく、地域・施設を利用しながら教育に取り組むことが基本であるが、新型コロナウイルス感染拡大防止策により、学校の教育、運営について様々な検討が行われ、対応策に迫われたことが確認できる。

① 新たな単位認定方法の実施

新型コロナウイルス感染拡大防止策のため、今年度は不要不急の外出自粛により全国の学校が休校になる。鹿島山北高等学校も4月より9月まで宿泊スクーリング（面接授業）を中止した。

高校では、生徒の卒業などの救済対応のため10月から翌年2月まで「日帰りスクーリング」を実施した。全国に点在する生徒の不利益（単位不認定）にならないよう代替課題の提出・合格による単位認定を実施した。

② 地域貢献について

宿泊スクーリングの地域貢献としての宿泊施設、弁当業者、観光施設を十分に活用することができなかった。そのため各施設の収益は減少した。

③ 町事業への支援体制について

毎年、町事業に参加しているが感染防止により、今年度は町行事が中止になったため、補助業務などへの参加を差し控える体制を取った。

(2) 新型コロナウイルス感染拡大防止策に対応するため、山北町の中学3年生対象の学習支援に協力をいただいた。

① 地域貢献への積極的参加

公設の学習塾として、全国に先駆けて山北中学3年生対象の学習支援塾「やまきた塾」を開講した。高校には地域貢献の一環として講師の派遣依頼を行い、快諾をいただき、基礎力強化及び受験対策に対応するため、7月から翌年1月まで全23回を実施した。中学3年生からは「わかりやすい」と大変好評であった。

生徒の学ぶ意欲に全力で応え、社会に貢献できる生徒を育成する担い手として、(通信制課程) 鹿島山北高等学校の更なる貢献、運営活動の拡充に期待する。

2. 学校設置会社(株式会社山北学園)の評価

(1) 構造改革特別区域の意味と地域の特性をよく理解して、経営の安定化に取り組んでいることが確認できるが、コロナ禍に対する対応策など検討事項がさらに発生し、解決に向けて順次対応してほしい。

① 学校設置会社の運営について

コロナ禍の令和2年度においては生徒の確保が難しい中、教職員への給与・手当等の対応に苦勞をされたのではないかと推測される。

② 教職員採用について

積極的に山北町及び周辺地域の人材を登用している。

(2) 学校設置会社の今後の役割について

① 設備等の検討事項について

教育の質の確保・向上に向けた施設等の改善・整備を徹底してほしい。例えば、地方の生徒のため遠隔学習(ZOOM・リモート)等の対応も検討の必要がある。常にベストの教育環境を提供できるように整備する。

② 地域貢献について

地域の施設(宿泊施設、業者、体験施設)を活用し続けることが、地域貢献に繋げるため、積極的に使用してほしい。

③ 衛生管理面について

今後のスクーリングにおいてもしっかりと対策を講じてほしい。

以上の点から、コロナ禍の対応を踏まえながら次年度に向けた課題の継続をしつつ、教育の質の確保・向上のため、教育環境の拡充をしていくことを更に期待したい。今年度の評価は「B」。

鹿島山北高等学校評価と通知及び公表

1. 構造改革特別区域法第 12 条第 5 項に基づき、教育特区推進室が評価する。
2. 別紙「学校評価表」により、A（良好である）、B（特筆すべき改善点はない）、C（改善すべき点が見受けられる）の基準で判定するとともに、業務状況書類等の備え置き及び事業報告書の記載事項について評価する。
3. 判定の時期は毎年度末(1回)とし、同法第 12 条第6項に基づき、4月に当該学校に結果を通知するとともに、山北町ホームページで公表する。
 - (1) 公表原稿は推進室が作成し、私立学校審議会に諮る。
 - (2) 公表期間は通年とし、業務状況書類等に準じて直近の三年間分を公表する。

【教育特区推進室評価】

令和2年度 鹿島山北高等学校 評価表

1/3

項 目		評 価 基 準	評価	備 考 及 び 改 善 指 導
教育課程 ・ 学習指導	授業等の状況	生徒の興味・関心を尊重した授業の進め方と学級経営	B	授業方法は対面授業を基本としているが、このような感染症対策の際、どのような学習方法が生徒にとって受講しやすいのか、検討を続けてほしい。 地域特性を活かすには、地方で学習を続けている生徒と随時連絡を取り合い、学び保障のための支援を続けてほしい。 添削課題などは、不明箇所が解決することで次の課題に移ることが可能になる。つまりレポート解説がそれを担っており、このような時期には重要になる。 各教科のレポート解説は、理解が苦手な生徒にも分かり易く、復習しやすいものが作成されるのが良いのではないかと思われる。
		体験学習の実施と地域の人材活用	B	
		学習指導要領の遵守と地域特性の活用	B	
	教育課程等の状況	体験学習、学校行事などの管理・実施体制	B	
		年間指導計画の編成及び適正な時間割	B	
		補充的学習時間の設定及び発展的学習の実施	B	
キャリア教育	組織的、計画的にキャリア教育に取り組む体制	B	自分の夢を実現させるために、職業意識を高めるためのキャリア教育は重要で、学業成績だけではなく、自分の性格、得意不得意など総合的に考え、卒業後のステップに役立ててほしい。 令和2年度は単位取得にスクーリング未実施のため課題が生じた。採用予定の生徒・学生が就職できず、入社してもリモートワークになってしまい、入社もままならない状況が今も続いている。	
	生徒の学籍台帳及び成績台帳等の個人的資料の管理	A		
	社会的・職業的自立のための体系的・系統的な指導	B		
	保護者や地域社会との連携協力の状況	B		
	職場体験活動や就業体験活動の状況	B		
生徒指導	生徒指導の状況	緻密な生徒指導の体制	B	
		出席、遅刻・早退のデータ管理と指導体制	B	
	人格的発達のための指導	基本的な生活習慣を身につけさせる工夫	B	
		社会人としての勤労、公德心意識等の指導の状況	B	
保健管理	地域の保健・医療機関等との連携の状況	B	地域の医療機関との連携は、このような時期は特に大切である。	
	健康管理と健康診断の実施の状況	B		

項 目		評 価 基 準	評価	備 考 及 び 改 善 指 導
安全管理		学校事故等の緊急事態発生時の対応	B	非常食、飲料は備蓄されている
		危機管理マニュアル等の作成・活用の状況	B	
組織運営		校務分掌等の機能性と運営・責任体制の整備	B	
		計画・執行・決算・監査に至る財務運営の状況	B	
		職専免研修の承認状況、服務監督の状況	B	
		各種文書や個人情報等の管理の状況	A	
資質向上の取組		校内研修・校外研修の実施・参加状況	B	参加を促進し学校の質の向上に役立ててほしい
		授業改善の取組の状況	B	
教育目標 ・ 学校評価	教育目標の設定と自己評価の実施	自己評価の実施と改善の状況	B	
		学校の状況を踏まえた教育目標の設定の状況	B	
	学校関係者評価の実施状況	第三者評価の実施状況	B	
		第三者評価の結果の設置者への報告の状況	B	
	生徒・保護者の意見・要望等の状況	教育相談体制の整備状況	B	有資格者の常駐を検討してほしい
		生徒・保護者の授業満足度等の評価把握の状況	B	
情報提供		学校に関する情報の提供状況	B	地域への情報発信の充実に努めてほしい
		学校評価結果の公表状況	A	
		情報提供手段の工夫とホームページの活用	B	一層の努力を期待する

項 目		評 価 基 準	評価	備 考 及 び 改 善 指 導
保護者、地域住民等との連携		地域の自然や文化財、伝統行事などの教育資源の活用状況	B	
		授業等における地域の人材など外部人材の活用状況	B	
教育環境 の整備	施設・設備	施設・設備の活用状況	B	
		設置者と連携した施設・設備の点検、整備の状況	B	
	教材・教具等	設置者と連携した教材・教具・図書の整備、充実	B	更なる拡充

1. 採点は「A=良好である」「B=特筆すべき改善点はない」「C=改善すべき点が見受けられる」に基づき評価を実施。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、教育特区推進室は高校の教育活動などの実績等から評価を実施した。

3. 上記評価は、令和2年4月1日～令和3年3月31日までの1年間を対象としている。